

資料6 植生の変化による生態系への影響

森林植生の多様性の変化例

高木層の枯死や下層植生の欠落により、群落の多様性の低下が考えられる。また、高木層が欠落することにより、林内環境が変化し、群落の種組成に変化が生じることが考えられる。

- ・ 高木層の衰退
例) 高木層のトウヒ、ウラジロモミ等林冠構成種の枯死
- ・ 低木層、草本層の衰退
例) スズタケ、ヤブレガサ等の消失
- ・ 林冠構成種の稚樹・幼樹の衰退
例) トウヒ、ブナ、ウラジロモミ等の稚樹・幼樹の枯死
- ・ 群落構造の単純化
例) 低木層、草本層の枯死による欠落

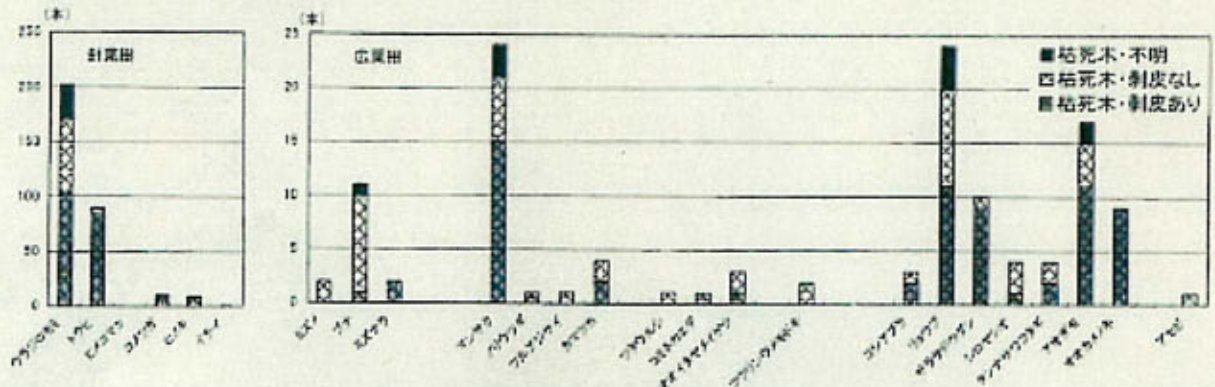


図 樹種別枯死木の発生状況

(出典：大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画 資料)



低木層が欠如したブナ林の様子 (2002. 10 撮影)

動物相の多様性の低下

林分構造が単純化することにより、動物の生息環境の多様性が低くなり、生息種数、個体数の減少が考えられる。

例) ネズミ類の減少

ササ残存区に比べ、ササ刈り払い区ではネズミ類が少ない。ササの密度に対応したものと考えられる。

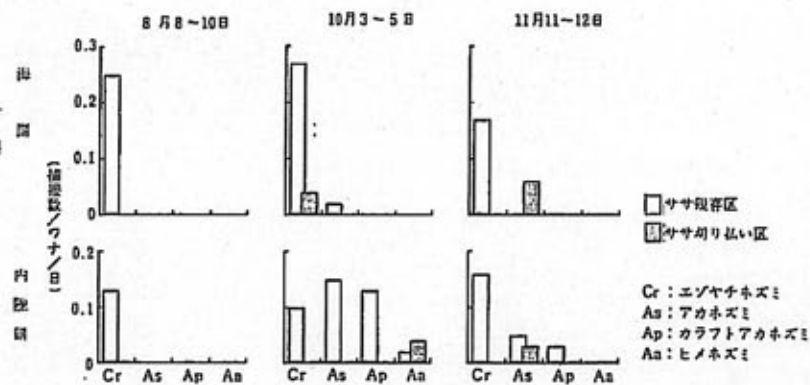


図 ネズミ類の捕獲数の変化

(出典：雑木林の植生管理、1996)

例) 鳥類相の種数の低下

森林棲の鳥類は植生の立体構造の違いに対応して棲み分けており、垂直方向の植生の分布が鳥類群集に影響する要因となっている。

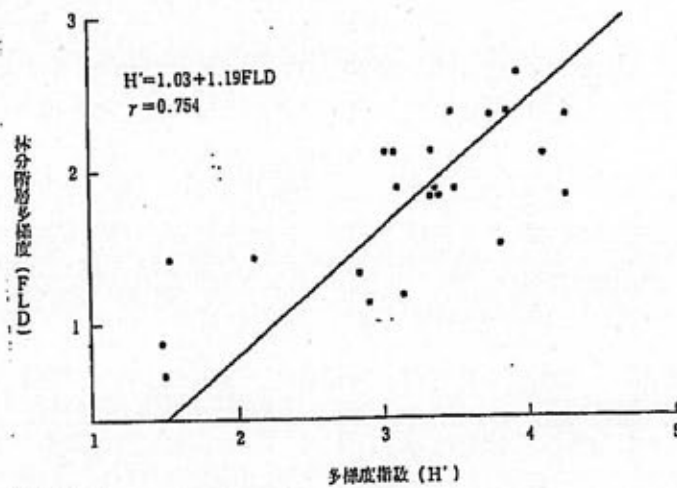


図 鳥類群集多様度と林分階層多様度との相関 (由井、1986)